

	<h2 style="margin: 0;">虫のからだの秘密を知ろう！ 中里郷土の森で「虫のからだ展」を開催</h2>
<p>会 期</p>	<p>令和2年7月22日(水)～8月31日(月)まで(火曜休園) 午前9時～午後5時</p>
<p>と ころ</p>	<p>区立中里郷土の森(大泉町1-5 1-2) 費用無料 定員なし</p>
<p>公式サイト</p>	<p>http://www.ces-net.jp/nakazato/</p>
<p>中里郷土の森緑地(大泉町1丁目)では、22日から、夏季企画展「虫のからだ展」を8月31日まで開催する。</p> <p>本企画展では「虫のからだの秘密」をテーマに、昆虫の驚くべき能力を紹介。昆虫のからだについて楽しく学ぶことができる。昆虫標本や水生昆虫の特別生体展示のほか、自分だけのコレクションができる「虫とりカード」「昆虫の得意技展示」等展示が充実している。</p> <p>同園では自然解説員が常駐し、貸出用の虫あみでいつでも昆虫採集体験ができる。</p> <p>担当者は「夏ほど生きもの探しが楽しい季節はない。この夏は、新型コロナウイルスで自粛ムードが続くが、親子で身近な昆虫の観察を楽しんでほしい」と話している。</p>	



▲ポスター

【展示の紹介】

今年のテーマは「虫のからだ」。本企画展では、虫のからだの秘密にクローズアップして、身近な虫の観察がもっと楽しくなる展示を用意している。昆虫標本を駆使した展示のほか、園内で見られる昆虫展示や水生昆虫の特別展示など、生体展示も充実。特に、自分だけの虫捕りコレクションができる「虫とりカード」は毎年人気のコンテンツ。今年は4種類からカードケースを選ぶことができる。

昆虫採集をしたことがない、という親子でも心配ない。自然解説員が常駐しており、来園者のサポートしている。

※新型コロナウイルス感染防止のため、自分の虫捕り網を持参することをおすすめしている。(貸し出しも有)



▲虫とりカード



▲人と虫のからだを比べる展示

【参考】区立中里郷土の森について(平成29年3月25日開園 約2,500㎡)

ケヤキなどの大木からなる武蔵野の原風景を活かした公園。(入園無料)
100年以上前から残る屋敷林の形をそのまま伝えている。

園内の「森の学習棟」では、常駐の自然解説員とともに、練馬の自然や生きものを楽しく学べる自然体験プログラムを実施している。(毎週日曜開催)

開園時間: 3～9月が午前9時～午後5時、10～2月が午前9時～午後4時30分まで。火曜(祝休日の場合はその翌平日)・年末年始は休園。

アクセス: 西武池袋線大泉学園駅北口から西武バス和光市駅南口行き「北大泉」下車 徒歩5分



▲森の学習棟

【問い合わせ】練馬区 みどり推進課 施設担当係 電話03-5984-1664